

研究課題名	乳癌幹細胞および制御性 T 細胞の定量化、スフェロイド培養による新たな薬物療法の効果予測		
研究責任者名	原爆放射線医科学研究所腫瘍外科 岡田 守人		
研究期間	実施許可日 ~2025 年 3 月 31 日		
対象者	本研究について既に文書にて同意済みの研究対象者の方		
意義・目的	<p>がん幹細胞は抗がん剤や放射線に抵抗性を示すとされており、がん幹細胞に対して有効な治療をいかに行うかが鍵となります。本研究では、乳がんの元となる乳がん幹細胞を培養し調べることでがん幹細胞の特徴を解明し、幹細胞を使って様々な抗がん剤治療の効果をみる新しい方法を探索していきます。</p>		
方法	<p>乳がん診断の為に、腫瘍の一部を取る“生検”が必要です。今回の研究は、この生検の際に採取した組織の一部を使用します。この組織を元に、スフェロイド培養という新たな三次元培養方法により、乳がん幹細胞の培養・増殖を行います。この培養した幹細胞を用いて、薬剤感受性試験を計画しています。この方法が確立すると、個々の乳がん症例において最適な治療薬選択が可能となります。本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は、年齢、閉経状態、診療情報等 です。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ）</p>		
研究代表機関	広島大学	岡田 守人	
研究機関の長	広島大学理事	田中 純子	
共同研究機関	<u>旭川医科大学 薬理学講座</u> 中山 恒 <u>島根大学医学部附属病院</u> 角舎 学行		
<p>広島大学に情報を集め（研究責任者 岡田 守人）が解析します。</p> <p>また、その後、旭川医科大学薬理学講座や島根大学医学部附属病院で、細胞実験や生化学的解析の補助を行う予定です</p>			
試料・情報の提供のみ行う機関			
機関名	県立広島病院	責任者名	尾崎 慎治 機関の長 板本 敏行
機関名	呉医療センター・中国がんセンター	責任者名	吉山 知幸 機関の長 下瀬 省二
機関名	JA広島総合病院	責任者名	梶谷 桂子 機関の長 石田 和史
機関名	広島市立安佐市民病院	責任者名	恵美 純子 機関の長 小野 千秋
利用または提供を開始する予定日：広島大学における実施許可日以降			
試料・情報の管理責任者			
広島大学教授大学 教授 岡田 守人			
試料・情報の他機関への提供および提供方法			

広島大学

同意文書において、「東京医科歯科大学」へ提供するとしていましたが、研究者の異動により、旭川医科大学薬理学講座へ提供することになりました。また、新たに島根大学医学部附属病院へ提供します。提供方法については、これまでと変わらず個人が特定されないことがないように個人情報を加工して提供します。

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5869 (平日 8:30~17:00)

広島大学病院 乳腺外科 講師 重松 英朗